

中津川市出身の画家・熊谷守一を山崎努が演じるヒューマンドラマ

『モリのいる場所』上映&トークショー

第21回 CINEX 映画塾

8/11(土・祝)

13:30~15:09 『モリのいる場所』上映
15:15~16:00 沖田修一監督トークショー


■料金 / 1,500円(税込)
■定員 / 190名 全席自由
■会場 / 岐阜CINEX

岐阜市日ノ出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前)

ゲスト

沖田修一 監督
おきた・しゅういち

1977年生まれ。2001年、日本大学芸術学部映画学科卒業。数本の短編映画の自主制作を経て、02年、短編『鏡と友達』が第7回水戸短編映像祭にてグランプリを受賞。06年、初の長編となる『このすばらしきさい』を発表。09年、『南無料理人』が全国で劇場公開されヒット、国内外で高い評価を受ける。12年公開の『キツキと雨』が第24回東京国際映画祭にて審査員特別賞を受賞し、ドバイ国際映画祭では日本映画初の3冠受賞を達成。13年2月、吉田修一原作の『横道世之介』が公開。第56回ブルーリボン賞最優秀作品賞などを受賞。国内にとどまらず、海外でも高く評価される日本映画界の期待の監督である。最新作は『滝を見にいこう』(14)『モヒカン故郷に帰る』(16)。



第3回 岐阜新聞映画部 アートサロン

8/20(月)

11:45~13:24 『モリのいる場所』上映
13:30~14:15 日比野克彦、廣江泰孝トークショー

■料金 / 映画みんと倶楽部限定上映作品の入場料に準ずる
■定員 / 190名 全席自由 ■会場 / 岐阜CINEX


岐阜市日ノ出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前)

【岐阜新聞映画部 アートサロン】以外の日時に岐阜CINEXで『モリのいる場所』をご覧になった方は、トークショーのみの参加(無料)も可能です。岐阜CINEXの劇場スタッフが半券に印鑑を押しますので、当日ご持参の上、お越しください。

ゲスト

日比野克彦
HIBINO Katsuhiko

アーティスト。2015年岐阜県美術館長就任。同館でナンパローネプロジェクトを展開中。1958年岐阜市生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。在学中に第3回日本グラフィック展で大賞を受賞したことを機に、美術、商業メディア、舞台芸術等、分野を超えて活躍。地域の特性を活かしたアートプロジェクトを展開するバイオニアでも。東京藝術大学美術学部長、先端芸術表現科教授。80年代以降、日本のアートシーンを牽引し続けている。



廣江泰孝 HIROE Yasutaka

学芸員。岐阜県美術館に勤めて25年。専門は山本芳孝から熊谷守一までの絵画芸術論。

岐阜新聞映画部員に加藤るみさん(岐阜県出身)によるイベント「加藤るみの映画館で会いましょう」。第2回は加藤さんが一番好きな映画監督ウディ・アレンの最新作『女と男の観覧車』の上映&トークショーを開催します!トークショー終了後は「アフタートーク&懇親会」も開催しますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております!

第2回 加藤るみの映画館で会いましょう

『女と男の観覧車』上映&トークショー

8/18(土)

12:15 開場
12:30~14:11 『女と男の観覧車』上映
14:15~15:00 加藤るみ トークショー

■料金 / 1,500円(税込)
■定員 / 190名 全席自由
■会場 / 岐阜CINEX

岐阜市日ノ出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前)

第2部 アフタートーク&懇親会

■時間 / 15:30~17:00 ■場所 / 柳ヶ瀬商店街 某所 ■料金 / 3,500円(税込) ■定員 / 30名


(注意事項) ※第2部はアフタートーク中心のため、第1部から参加の方のみ購入可能です。 ※詳しい場所は、参加者の方のみお伝えいたします。 ※未成年者の酒類のご注文はご遠慮ください。

8/4(土)午前9時30分より、岐阜CINEX劇場窓口、WEB・ファミリーマートでのチケット発売・受取開始!

WEB・ファミリーマートでご購入の方へ

※お申し込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。 ※第1回の際に使用した「47club ticket」とは異なりますので、お手数ですが、再度ご登録をお願いいたします。 ※チケット券面額以外に手数料が別途掛かります。

WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら
<https://www.funity.jp/tickets/gifus/showlist>



3

モリのいる場所


こんなにも人生は、豊かで愛おしい—
名優・山崎努と樹木希林
結婚52年目の画家・熊谷守一とその妻の、夏の1日。

昭和49年の東京。30年間自宅のちっちゃな庭を探検し、草花や生きものたちを飽きもせず観察し、時に絵に描く画家モリ(94歳)と、その妻秀子(76歳)。暮らし上手な夫婦の毎日は、呼んでもないのになぜか人がひっきりなしにやってきて大忙し。そんな二人の生活にマンション建設の危機が忍び寄る。陽がささなくなれば生き物たちは行き場を失う。慈しんできた大切な庭を守るため、モリと秀子が選択したことは?

山崎努、樹木希林、加瀬亮、吉村界人、光石研、青木崇高、吹越満、池谷のぶえ、きたろう、林与一、三上博史

監督・脚本:沖田修一 配給:日活 時間:99分 ©2017モリのいる場所製作委員会

日本



4

子どもが教えてくれたこと


フランスで23万人が観た感動作! 病気を患う子どもたちから、
“いまこの瞬間”を生きることの大切さを改めて教えてくれるドキュメンタリー。

主人公はアンブル、カミーユ、イマド、シャルル、テュデュアルの5人の子どもたち。彼らに共通するのは、みな病気を患っているということ。治療を続けながらも、彼らは毎日を精一杯生きている。家族とのかけがえない時間、学校で仲間たちと過ごすとき。辛くて痛くて、泣きたくもなることもある。けれど、彼らは次の瞬間、また新たな関心事や楽しみを見つけて出す。そんな子どもたちを、カメラは優しく、静かに見つめ続ける。

アンブル、カミーユ、イマド、シャルル、テュデュアル

監督・脚本:アンヌドフォーヌ・ジュリアン 配給:ドマ 時間:80分 © Incognita Films - TP1 Droits Audiovisuels

フランス



5

女と男の観覧車

ウディ・アレン監督の名人芸たる新作。『ラストエンペラー』のヴィットリオ・ストラーロ撮影による絶妙な色調に酔いながら、ケイト・ウィンスレットの大熱演にハマりたい。18日のトークショーでも大いに語り合おう!

映画部員No.3 加藤るみさんのオススメ作品!!

映画界の巨匠ウディ・アレンは82歳になった今も、年に1本映画を作り続けている。毎年、驚きと笑いをくれるウディ・アレンはいつだってイジワルだ。「ブルージャズミン」では金に溺れている女を描き、今回の『女と男の観覧車』では嫉妬に狂っていくアラフォー女を描く。ハッピーな感じで、この主人公超しんどいです(ある意味褒め言葉)。

遊園地のレストランで働くジニーは、かつては女優として舞台上に立っていたが、今は回転木馬の操縦係を務める夫のハンパティ、そして自身の連れ子と観覧車の見える部屋で暮らしている。実は彼女は、海岸で監視員のアルバイトをしているミッキーと付き合っていた。平凡な毎日に失望していたジニーは、脚本家を目指す彼との未来に夢を見ていたが、音信不通になっていた夫の娘キャロライナが現れたことから、すべてが狂い始める。

ケイト・ウィンスレット、ジャスティン・ティンバーレイク、ジュノー・テンブル、ジム・ペルーシ

監督・脚本:ウディ・アレン 配給:ロングライド 時間:101分 Photo by Jessica Miglio ©2017 GRAVIER PRODUCTIONS, INC.

アメリカ

あぐりでは、いんどこか...もっと素敵な人生が待っているはず。あぐりな理想を追い求める女性の魂の奥深くに迫る、ウディ・アレン監督最新作



2

8/3(金)▶23(木)

空飛ぶタイヤ

「半沢直樹」「下町ロケット」「陸王」など、多くの人の心をつかんできた大ヒットドラマの原作者・池井戸潤の作品がついにスクリーンで!映画ならではのテンポの良さも相まって、楽しめること間違いなし!ぜひ劇場でご覧ください!



岐阜県出身の作家・池井戸潤原作、累計180万部を突破した大ベストセラーが初の映画化! 観る者すべての勇気を問う、世紀の大逆転エンタテインメント!

ある日突然起きたトレーラーの脱輪事故。整備不良を疑われた運送会社社長・赤松徳郎は、車両の欠陥に気付き、製造元である大手自動車会社のホープ自動車カスタマー戦略課課長・沢田悠太に再調査を要求。同じ頃、ホープ銀行の本店営業本部・井崎一亮は、グループ会社であるホープ自動車の経営計画に疑問を抱き、独自の調査を開始する。それぞれが突き止めた先にあった真実は、大企業のリコール隠しだった—。

長瀬智也、ティーン・フジオカ、高橋一生、深田恭子、寺脇康文、小池栄子、阿部顕嵐(Love-Tune/ジャニーズJr.)、ムロツヨシ、中村蒼

監督・脚本:本木克彦 配給:松竹 時間:120分 ©2018「空飛ぶタイヤ」製作委員会

日本

6

8/25(土)▶9/7(金)

フジコ・ヘミングの時間

撮影中のインタビューと少女時代の絵日記を通して語られるフジコ・ヘミングの波乱万丈の人生を描いたドキュメンタリー。「ラ・カンパネラ」「ため息」「月の光」「ククタン」などの演奏を噛みしめながら、フジコの“素顔”をご覧ください!

苦難を乗り越え、60代で世界に見いだされた奇跡のピアニスト、フジコ・ヘミング。いつくになっても豊かな人生を奏でるフジコを撮影した初のドキュメンタリー。

60代後半でデビューし、80代になった今でも世界中で演奏活動続けるフジコ・ヘミング。その情感あふれるダイナミックな演奏は多くの人の心をとらえ、“魂のピアニスト”と呼ばれている。世界中の人々を魅了してやまないフジコの音楽は、どんな人生、ライフスタイルから生まれてくるのか?お気に入りのアンティークと猫たちに囲まれて暮らすパリの自宅、古民家で過ごす京都の休日など、フジコの素顔を解き明かす。

フジコ・ヘミング、大月カフ、ナレーション:三浦透子

企画・構成・撮影・編集・監督:小松莊一良 配給:日活 時間:115分 ©2018「フジコ・ヘミングの時間」フィルムパートナーズ

日本

7

8/25(土)▶9/7(金)

ヒトラーを欺いた黄色い星

ヒトラー独裁政権下のベルリンで、身をひそめながら生き抜いたユダヤ人4人の実話を、記録映像を交えながら描く。ナチスに捕まるかもしれない恐怖感・緊迫感を体感しながら、衝撃の史実に目を見向てください。

1941年から1945年にかけて、ナチスに虐殺されたヨーロッパのユダヤ人は約600万人と言われ、そのうち16万人がドイツ国籍を持っていた。1943年6月、ナチスはベルリンからユダヤ人を一掃したと正式に宣言したが、実は約7000人ものユダヤ人がベルリンに潜伏し、約1500人が終戦まで生き延びたのだ。極限状況のもと、彼らはどのようにして身分を隠しながら、恐ろしいゲシュタポの手入れや密告者の監視の目をすり抜けていったのか。

マックス・マウフ、アリス・ドワイヤー、ルビー・O・フィー、アーロン・アルタラス

監督・製作・脚本:クラウス・レーフェ 配給:アルパトロス・フィルム 時間:111分 ©2016 LOOK! Filmproduktion / CINE PLUS Filmproduktion ©Peter Hartwig

ドイツ

竹内涼真 50ページ総力特集!
キネマ旬報PREMIUM #01

表紙&巻頭特集は、「センセイ君主」で主演を務める竹内涼真!いつもより大判サイズでの写真の見ごたえもたっぷり!50ページの総力特集です。その他にもこれら注目的高杉真宙君の専断をたべたい、中東あやみ×佐野勇斗「3D彼女リアルガルル」、村上虹郎「鏡」などを掲載しています!
1,200円(税込) / 発売中



1

8/24(金)

絶賛上映中▶8/24(金)

万引き家族

ことしのカンヌ国際映画祭で最高賞パルムドール受賞作! 是枝裕和監督の快挙を映画館で確認してください。安藤サクラ、樹木希林そして子供たちの輝きは、世界を驚かすまでに違ひありません。貴方の心眼で必見の話題作です。

家族を描き続けてきた是枝裕和監督が、家族を超えた絆を描く。決して明かしてはならない、ある一家の秘密が紐解かれていくうちに、未体験の心の震えが押し寄せる衝撃の感動作!

鮮やかな運係プレーで万引きをする父の治と息子の祥太。寒さに震えながら家路につくと、母親に部屋から閉め出されたらしい女の子が団地の1階の廊下で凍えているのを見つける。「ゆり」と名乗るその子連れて帰り、温かいうどんを出した後、治と妻の信代は団地へ返しに行くが、ゆりの両親が罵り合う声聞いたふたりは、「産みたくて産んだわけじゃない」とわめく母親の元にゆりを残して帰ることはできなかった。

リリー・フランキー、安藤サクラ、松岡茉優、池松壮亮、城桧吏、佐々木希、緒方直人、森口瑠子、山田裕貴、片山萌美、柄本明、高良健吾、池脇千鶴、樹木希林

監督・脚本・編集:是枝裕和 配給:キタゴ 時間:120分 ©2018「万引き家族」製作委員会

日本

8

8月の活動

7月に続き、今月も映画部のイベントが盛りだくさん! 『モリのいる場所』では11日(土・祝)に沖田修一監督によるCINEX映画塾、20日(月)には岐阜県美術館長でアーティストの日比野克彦さん、岐阜県美術館学芸員の廣江泰孝さんによるアートサロンを開催。18日(土)には「女と男の観覧車」の上映と映画部員・加藤るみさんによるトークショーを開催します! 平成最後の夏はぜひ岐阜CINEXでお楽しみください!

映画みんと倶楽部 限定上映作品 入場料金

大人 (1,800円のところ) 1,500円	大学生 (1,500円のところ) 1,300円	サービステーター レディースター (毎週水曜・女性のみ) ファーストター (毎月1日)
シニア (1,100円のところ) 900円	高校・中学・小人 (1,000円のところ) 800円	エブリディ・ナイトサービス (毎日夕方18時以降)

(1,100円のところ) **900円**

上映作品に関するお問い合わせ **岐阜CINEX** TEL 058-264-7151
岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)

岐阜新聞映画部

【協賛】キリンビール株式会社 **大和証券**
【協力】キネマ旬報社 【企画・制作】岐阜新聞社広告局

7月に続き、今月も映画部のイベントが盛りだくさん! 『モリのいる場所』では11日(土・祝)に沖田修一監督によるCINEX映画塾、20日(月)には岐阜県美術館長でアーティストの日比野克彦さん、岐阜県美術館学芸員の廣江泰孝さんによるアートサロンを開催。18日(土)には「女と男の観覧車」の上映と映画部員・加藤るみさんによるトークショーを開催します! 平成最後の夏はぜひ岐阜CINEXでお楽しみください!

岐阜新聞映画部Webや公式SNSでは、映画部ライターによる作品評などを紹介!

「万引き家族」ほか、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。詳しくは右のコードから。



情報発信中!!

上掲作品に関するお問い合わせ **岐阜CINEX** TEL 058-264-7151
岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)